2022 年 10 月 25 日

委 員 各 位

一般社団法人溶接学会
溶接疲労強度研究委員会
委員長　大沢直樹
（公印省略）

【修正版】

（オンライン開催）

開 催 通 知

第275回溶接疲労強度研究委員会(FS委員会)を下記のように「オンライン」にて開催しますので，ぜひご出席賜りますようご案内申し上げます．

出欠のご回答は**11月８日（火）まで**にお願いいたします．

記

1.　日　　時：　2022年(令和4年)　11月　15日(火)　13:30～16:30

2.　開催方法：「Microsoft Teams」によるオンライン開催
　　（アクセス方法は，参加申し込み頂いた後にメールでご案内します）

3.　報告および研究発表

1)　13:30～13:45：　委員会議事

2)　13:45～14:15　FS-1342-22：
「*Numerical Study on the Effect of Peening Analysis Condition on HFMI-induced Local Residual Stress*」
○*Peiyuan Dai*（大阪大学大学院），*Phyo Myat Kyaw, Naoki Osawa, Sherif Rashed, Donghui Ma, Jun Okada, Masahito Honnami*

3)　14:15～14:45　FS-1343-22：
「残留応力解法によって生じるひずみ変化を用いた疲労き裂の検出に関する検討」
○石川 敏之 （関西大学）

4)　14:45～15:15　FS-1344-22：
「鋼種・板厚・応力比に着目した局部誘導加熱の疲労強度向上効果に関する検討」
○小原 礼 ((株)横河ブリッジホールディングス)

15:15～15:30　　-------- 休　憩 --------

5)　15:30～16:00　FS-1345-22：
「片面溶接継手の背面再溶融による疲労強度向上」
○穴見 健吾(芝浦工業大学)

6)　16:00～16:30　FS-1346-22：
「薄板アーク溶接部の微小亀裂の観察と微小凹凸を考慮した疲労強度推定」
○松田 和貴(九州大学大学院)

4.　プログラムは都合により変更することがありますので，予めご了承下さい．

5.　オンライン開催に伴うご参加について

（参加方法について）

参加のご連絡と誓約書（未提出の方、委員以外の方）をご提出いただきましたら、会議室番号URL，オンライン開催に関する情報を別途事務局よりご案内いたします。この情報はご参加者のみご利用をお願い申し上げます。

（配布資料について）

当日の配布資料、ご講演資料は委員会開催前に従来のダウンロードシステムを利用し皆様へご送付致します。（これは当日欠席される方にも同様に委員全員宛にご送付いたします）

オンライン開催当日までにご自身にて配布資料の印刷を行っていただきお手元にご準備のうえご参加をお願い申し上げます。

※オンライン配信画面の撮影、録音、録画、スクリーンショットおよびその他の映像機器をご利用されての記録は絶対に行われませんようお願い申し上げます。

以上